

令和5年度

第3回 八代市社会教育委員会議

日時：令和6年3月18日（月）

午後2時00分～

場所：八代市公民館 研修室

次 第

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 議 事

- (1) 令和5年度生涯学習課の主な事業について（報告）
- (2) 令和6年度生涯学習課の主な事業計画（案）について
- (3) 令和5年度地域学校協働活動について（報告）
- (4) 令和6年度地域学校協働活動計画について（報告）
- (5) 熊本県社会教育委員連絡協議会第2回理事会について（報告）

4. 閉 会

八代市社会教育委員名簿

	役職	氏名	団体等名
1		はやしうや 林 浩也	八代校長会小学校部会代表 (八代市立郡築小学校長)
2		まつもと たくや 松本 卓也	八代校長会中学校部会代表 (八代市立東陽中学校長)
3		まつもと けいすけ 松本 啓佑	八代市PTA連絡協議会代表 (会長)
4	副会長	みくりの えみこ 三栗野 恵美子	八代市地域婦人会連絡協議会代表 (会長)
5		たかくら ちさこ 高倉 知佐子	NPO法人八代市スポーツ協会代表 (副会長)
6		てらお けいこ 寺尾 恵子	八代市民生委員児童委員協議会代表 (副会長)
7	副会長	とくだ たけはる 徳田 武治	八代地域代表 (市民活動政策課推薦)
8		やまもと いづほ 山本 衣図穂	坂本地域代表 (坂本支所推薦)
9		すすきだしんじ 薄田 眞治	千丁地域代表 (千丁支所推薦)
10	会長	いきた ふみあき 生田 文明	鏡地域代表 (鏡支所推薦)
11		いわもと みえこ 岩本 美重子	東陽地域代表 (東陽支所推薦)
12		おしかた てつや 押方 哲也	泉地域代表 (泉支所推薦)

任期: 令和5年8月1日～令和7年7月31日 委員定数16人以内

1. 令和5年度 事業報告について

(1) 人権教育事業

[目的]

八代市におけるあらゆる差別の解消を図るため、各種大会・研修会への参加を通じて、重要な人権課題の把握に努めるとともに、社会教育指導員や専門講師等を活用し、様々な学習機会の提供を行うことにより、市民の人権意識の向上に努める。また、校区との協働による人権啓発の取組及び、解放学習等への委託や支援を継続するとともに、人権教育活動の拠点である西宮・上日置集会所の維持管理を行う。

① 人権のまちづくり事業

毎年3校区を推進校区に指定し、人権のまちづくり事業として、まちづくり協議会と連携し地域住民への人権意識の広がりにつなげる取組について協議を行う。

令和5年度は、郡築校区・坂本校区・泉校区を推進校区に指定し、各コミュニティセンターへ啓発ポスターの掲示や、『八代市人権問題啓発推進協議会』で募集された2022年度の八代市人権作品の中から、対象校区児童・生徒の作品をコミュニティセンターだよりへの掲載等を行い、地域住民への人権意識の高揚を図った。

② 人権教育研修会

○令和5年度『八代市社会教育団体等人権教育研修会』

日時：令和5年11月28日（火）19：00～20：30

場所：八代市公民館 会議室A B

対象：八代市及び氷川町の社会教育団体（PTA・婦人会・子ども会）

教育委員会職員、人権同和教育・啓発関係機関

参加者数：42人

演題：『熊本県民として知っておきたい「水俣病」のこと』

講師：一般財団法人 水俣病センター相思社 常務理事

永野 三智（ながの みち）さん

③ 連携事業

○八代人権同和教育推進協議会【八同推協】との連携

・第47回八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会

日時：2023（令和5）年7月29日（土）9：00～16：10

場所：【全体会】桜十字ホールやつしろ 市民ホール
【分科会、基礎講座A】八代地域各会場、西宮・上日置集会所

参加人数：【全体会】486人

【分科会・基礎講座A】997人

・2023（令和5）年度 八代人権同和教育推進協議会「総括学習会」

日時：2024（令和6）年2月6日（火）9：30～16：00

場所：氷川町文化センター

○部落解放同盟八代支部との連携

・2023年度 八代地区人権同和教育夏期現地研修会

日時：2023（令和5）年7月27日（水）9：00～15：30

28日（木） //

8月 1日（火） //

2日（水） //

場所：西宮・上日置集会所

参加人数：361人

○八代地域人権教育のための推進会議【推進会議】との連携

・2023人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ

日時：2023（令和5）年12月2日（土）9：30～12：30

場所：八代市公民館 ※他、学校限定でライブ配信

◎事業の課題

西宮・上日置集会所の維持管理、解放学習等への委託や支援、関係団体との連携が主な事業活動となっており、各種大会や研修会等への参加により把握した人権課題を、市民の人権意識の向上に繋がる学習機会の提供へ活用することが出来ていない状況です。

◎今後の取組予定

専門講師等を活用した学習機会の提供をさらに充実させるため、『八代市社会教育団体等 人権教育研修会』を八代地区社会人権同和教育連絡協議会【八社人同連】を主催とし開催します。

（2）地域学校協働活動事業

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの育成を支えていく「地域学校協働活動」を推進するために、学校と地域とをつなぐ「地域学校協働活動推進員」（地域コーディネーター）を市内の全39の小・中・特別支援学校に配置（33人）し、活動を実施した。

① 様々な学校協力活動

〔目的〕

多くの地域住民の参画を得て、登下校の見守り、読み聞かせ、環境整備（花壇や図書室の整備）等のボランティア活動や地域の資源を生かしたふろさと学習や職場体験などの授業支援、また児童生徒の地域へ参画する清掃や地域行事への参加など地域の特色を生かした活動を実施し、子どもたちの学びを深める。

〔令和5年度実施校〕

市立の全小・中・特別支援学校（計39校）に地域コーディネーターを配置し、各学校のサポートに向けた活動を行っている。

② 放課後子ども教室

〔目的〕

放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

〔令和5年度実施校〕 ※実績は令和6年1月報告分まで

○昭和小学校

参加児童数：22人（1年生10人・2年生4人・3年生8人）

実施時間：毎週月曜日14時50分～16時20分

内容：宿題サポート、おはなし会、リズム遊び、工作教室、和太鼓体験、空手体験 など

令和5年度実績：24回 参加者延べ377人

※3年生は月に1度（和太鼓）のみ。

○泉小学校

参加児童数：9人（1年生4人・2年生5人）

実施時間：毎週火曜日及び金曜日の14時30分～16時00分

内容：宿題サポート、塗り絵、折り紙、七夕飾り、数遊び、バルーンアート、体育館で遊ぼう など

令和5年度実績：40回、参加者延べ346人

③ 地域未来塾

〔目的〕

経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に対して地域住民の協力による学習支援を行う。

[令和5年度実施校] ※実績は令和6年1月報告分まで

○第四中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：毎週水曜日の放課後 2時間程度

科目：英語、数学、理科、社会

実績：実施回数29回、延べ125人

○第六中学校

参加生徒：希望する生徒（3年生）

実施時間：曜日の指定なし 2時間程度

科目：英語、数学

実績：実施回数42回、延べ282人

○第八中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中 3時間程度

科目：夏休みの課題、英語

実績：実施回数3回、延べ39人

○日奈久中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中 2時間程度

科目：夏休みの課題、国語（俳句、文法）

実績：実施回数8回、延べ115人

○二見中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：毎週水曜日または金曜日の放課後を基本 2時間半程度

科目：英語、数学

実績：実施回数26回、延べ272人

○千丁中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中 2時間程度

科目：夏休みの課題

実績：実施回数5回、延べ203人

延べ実施回数 113回、延べ参加生徒 1,036人

④ 不登校・別室登校対策

〔目的〕

本市の重要な教育課題の一つである不登校・別室登校問題について、学校と保護者だけでなく、関係機関、地域住民等の連携・協働体制を構築し、社会総

掛かりで対応し、誰一人取り残すことのない教育環境の構築を目指す。

[令和5年度の取組内容]

○地域未来塾を引き継いだ活用型

- ・内 容…昨年度まで実施していた地域未来塾を継続し、校区に住む退職教職員が別室登校生徒に対して個別に学習支援を実施。
- ・実施校…第三中学校、鏡中学校

○主任児童委員・退職教職員等地域人材との連携型

- ・内 容…地域学校協働活動事業（報償費）を活用、またはボランティア人材を活用し、別室登校児童・生徒への学習支援や話し相手となる支援を実施。
- ・実施校…太田郷小学校、植柳小学校、第一中学校、第二中学校、千丁中学校

○地域における居場所づくり

- ・内 容…学校外の施設を利用し、八代高校・八代中学校の生徒たちによる、外国にルーツを持つ児童や不登校児童への学習支援や話し相手となる交流を実施。（地域コーディネーター及び校区住民自治の青少年育成部会と学校が連携した取組）
- ・実施校…代陽小学校

○外国にルーツを持つ児童の学習支援

- ・内 容…退職校長会の地域担当のコーディネートにより実現。週に3時間、4人のサポーターが交代で支援。ひらがなや短文の練習だけでなく、算数の支援も行われている。
- ・実施校…代陽小学校

⑤ 各種研修等

○教職員との意見交換会

日 時：令和6年1月26日（金）15時00分～16時40分

場 所：八代市公民館 会議室 AB

参加者：市内小中学校教職員 計36人

◎事業の課題

- ・教職員と地域コーディネーターとのコミュニケーションが不足していることにより、活動が低迷している学校もあります。
- ・地域住民のボランティア人材が不足しています。
- ・様々なタイプの不登校児童生徒が増加しているため、学校・地域と連携を図りながら対応する必要があります。

◎今後の取組予定

- ・教諭と地域コーディネーターとの連携を強化し、意見交換会の開催や成功例等の情報提供を実施します。
- ・広報誌やコミセンだより等を活用し、ボランティア人材バンクの登録者や地域の協力者を積極的に募ります。
- ・退職校長会や退職教職員等の教育現場に長けた人材の協力による学校支援を行います。

(3) 二十歳の集い（成人式）

〔目的〕

20歳という人生の節目を迎える若者たちを祝福、激励するとともに、改めて大人になった責任と義務を自覚し、郷土「八代」への愛着を深めるため開催する。

〔実施方法〕

実行委員会に二十歳の集いイベント等の企画と運営を委託。

〔対象者〕

平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの人
1,153人（令和5年11月現在）

〔令和6年八代市二十歳の集い実績〕

開催日：令和6年1月7日（日）

会場：八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）

式典参加者：558人

イベント：二十歳を叫べ、フォトコンテスト、抽選会

◎事業の課題

式典会場に入場しない参加者に対しての工夫は今後も検討していく必要があります。

◎今後の取組予定

実行委員会によるイベントについては、当日の参加者の心に残るイベントとなるように事務局でアドバイスや進捗調整を行います。

(4) 社会教育関係団体育成事業

〔目的〕

社会教育団体の健全育成、活性化を促進し、生涯学習社会の構築を推進するため、社会教育関係団体の活動に対して助成等を行う。

[令和5年度助成実施団体及び補助実績額（交付決定額）]

- ・八代市地域婦人会連絡協議会 1,068,000円
- ・八代市子ども会連合会 240,000円
- ・八代市PTA連絡協議会 513,000円

◎事業の課題

社会教育団体の組織人員の減少が課題となっています。

◎今後の取組予定

社会教育団体の自主性を尊重し社会教育活動ができるよう、引き続き助言・指導を行います。

(5) 青少年体験活動事業

[目的]

家庭や学校では、体験できない野外活動等を取り入れた青少年体験活動事業を実施し、次代を担う青少年の健全育成を図る。

[令和5年度実績]

① アウトドアスクール

対象者：市内在住の小学校4～6年生の児童

参加数：34人（児童27人、高校生ボランティア7人）

期 日：令和5年7月26日（水）～28（金）

場 所：あしきた青少年の家（葦北郡芦北町鶴木山）、お祭りでんでん館

内 容：ナイトゲーム、ペーロン、創作活動等

② 夏休み子ども陶芸教室

対象者：市内在住の小学校4～6年生の児童

参加数：27人

期 日：令和5年8月3日（木）

場 所：赤星公園 水竹居の館（鏡町宝出76-1）

内 容：陶芸体験（皿・カップ作製）

③ 宿泊教室 in さかもと

対象者：市内在住の小学校4～6年生の児童

参加数：10人

期 日：令和5年10月28日（土）～29日（日）

場 所：さかもと青少年センター（坂本町中谷い1270）

内 容：宿泊体験・調理体験・木工活動・ハイキングほか

④ 東陽町ウォーキング&ダンボール窯でピザづくり

対象者：市内在住の小学校3～6年生の児童とその保護者

参加数：4組12人

期 日：令和5年12月16日（土）

場 所：東陽町北（道の駅東陽周辺）、立神峡里地公園

内 容：ウォーキング・ダンボール窯づくり・ピザづくり

※雨天のため、東陽町ウォーキングは中止とし、赤星公園水竹居の館（鏡町）でダンボール窯ピザ焼き体験を実施した。

◎事業の課題

- ・アウトドアスクールでは高校生ボランティアを動員するなど、運営体制の充実と熱中症対策が懸念事項です。
- ・宿泊体験や親子体験の開催時期は、市の他イベントが集中する時期を避けるなど、配慮が必要です。

◎今後の取組予定

アウトドアスクールでの高校生ボランティアの募集など市内高校との連携や、開催地の地域の方々や団体との交流などを含め、魅力的なプログラムになるよう今後も内容を工夫していきます。

（6）社会教育施設管理運営事業

〔目 的〕

市民に学習・研修・スポーツ・趣味を楽しむ機会を提供する生涯学習のための施設として整備する。

○八代市さかもと青少年センター（坂本町中谷い 1270）

閉校となった旧小学校施設を活用し、自然豊かな環境の中で、青少年及び成人が団体宿泊等による共同生活体験や自然活動体験を通し、社会性豊かな感性を育み、規律、協同、友愛、互助の精神を養う。

- ・設 置 平成16年4月 ・敷地面積 8,764㎡
- ・延床面積 2,066㎡

〔利用状況の推移〕

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
442件	6,399人	458件	5,324人	361件	3,132人

※令和5年度は令和6年1月末現在

○八代市社会教育センター(5施設)

学校統合により閉校となった旧小学校施設を活用し、自然豊かな環境の中で、少年の健全育成をはじめ社会教育に関する活動の推進を図る。

[利用状況の推移]

施設名	設置	敷地面積 床面積	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			件数	人数	件数	人数	件数	人数
深水社会教育センター (坂本町深水い 1471)	H16.4	6,357 m ² 1,709 m ²	172	1,120	148	846	79	450
鮎婦社会教育センター (坂本町鮎婦は 867)	H16.4	5,390 m ² 2,436 m ²	16	340	16	200	31	492
田上社会教育センター (坂本町田上 2006)	H16.4	17,571 m ² 2,212 m ²	27	438	59	540	57	576
久多良木社会教育センター (坂本町百済来 664)	H18.4	7,930 m ² 2,175 m ²	95	695	86	586	76	471
仁田尾社会教育センター (泉町仁田尾 96)	H23.4	2,836 m ² 464 m ²	44	397	82	912	54	502

※令和5年度は令和6年1月末現在

○八代市二見自然の森(二見本町 3087)

恵まれた自然環境の中で安全で快適な憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用及び健康の増進を図る。

- ・設置 平成9年4月1日
- ・面積 20,852 m²

[利用状況の推移]

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
0件	0人	0件	0人	0件	0人

※令和5年度は令和6年1月末現在

○八代市八竜山自然公園(坂本町中谷は 335-2)

恵まれた自然環境と豊かな森林資源を保護しつつ、広域的な教育活動と森林レクリエーションの場を提供するとともに、青少年の健全育成を図る。

- ・設置 平成9年4月1日
- ・面積 22,729 m²

[利用状況の推移]

施設名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
さかもと八竜天文台	—	377人	—	1,228人	—	1,075人
ロッジ（6人用×3棟）	10件	40人	60件	246人	51件	215人
コテージ（10人用）	3件	24人	30件	230人	20件	158人

※令和5年度は令和6年1月末現在

○八代市赤星公園（鏡町宝出 76-1）

市民の教育、学術、文化の向上及び市民相互の交流を図る。

- ・ 設 置 平成15年4月1日
- ・ 面 積 4,278 m²

[利用状況の推移]

施設名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
研修室	59件	732人	39件	1,031人	210件	1,368人
工 房	80件	427人	108件	483人	73件	656人
厨 房	4件	170人	20件	80人	28件	53人
屋 外	3件	145人	2件	300人	5件	166人

※令和5年度は令和6年1月末現在

◎事業の課題

- ・ 坂本町の社会教育センターは、八代市公共施設個別施設計画に基づき、施設の利用人口やニーズ等を考慮し、施設の方向性について検討する必要があります。
- ・ 老朽化に伴う軽微な不具合が発生しています。

◎今後の取組予定

- ・ 坂本町の社会教育センターは、坂本地域復興にあわせて、他施設との複合化や転用のほか、廃止などといった方向性について検討を行っていきます。
- ・ 突発修繕等に速やかに対応できるよう、予算を確保し適切な維持管理に努めていきます。

(7) 図書館管理運営事業

[目的]

生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、市民の読書活動、学習活動、調査研究活動等を支援し、市民の教育と文化の発展に寄与するため、必要な図書資料等を収集、整理、保存し貸出又は閲覧に供するとともに、読書活動を推進する自主事業等を行い、学習活動や文化活動の機会を提供する。

[図書館指定管理者]

○委託者 TRCグループ共同企業体

(株式会社図書館流通センター、九州綜合サービス株式会社)

○契約内容 図書館の運営に関する業務、図書館の利用に関する業務、集会室等の利用の許可に関する業務、施設等の維持及び修繕に関する業務、教育委員会が図書館の管理上必要と認める業務

○契約期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)

○利用実績(個人+団体)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出冊数	354,991冊	402,046冊	339,480冊
貸出利用者数	73,132人	81,919人	72,231人
来館者数	301,421人	368,262人	221,447人

※令和5年度は令和6年1月末現在

○利用実績(電子図書)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出冊数	11,491冊	29,925冊	20,280冊
登録者数	12,249人	3,226人	2,646人
コンテンツ数	9,662冊	13,016冊	13,251冊

※令和5年度は令和6年1月末現在

○主な図書館行事(令和5年度実績)

- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催
全国コンクールへ推薦し、優良賞、佳作を各1作品受賞。
- ・図書館まつりの開催
春のこども読書週間、秋の読書週間で、スタンプラリー、おはなし会、ブックリサイクル等のイベントを実施。2月に図書館マルシェを開催。
- ・読書支援サービス
点字図書、録音図書の郵送サービス、電子図書館でのデイジー図書の貸出。図書館講座「ろうあ者と手話&ミニミニ手話教室」やバリアフリー

映画の上映会、読書支援サービスに関する展示。

- ・パネル展
「がん健診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間イベント」「原爆と人間展」他多数
- ・図書館講座
「プログラミング講座」「図書館の便利な使い方」他多数。
- ・坂田文庫20万円分購入及び展示（予定）
- ・図書館マルシェの開催
令和6年2月18日（日）9時30分～15時
- ・新しい移動図書館の愛称とラッピングデザイン表彰式
令和6年2月18日（日）11時～

○電子書籍・ICタグ関連システム関係（本館）

- ・電子書籍 1,137コンテンツの追加（うち児童書246冊）
2,372千円（令和6年1月末現在）
- ・蔵書点検（不明本の推移）※本館

単位：冊

年度	一般	児童	合計
令和3年度	605	53	658
令和4年度	664	17	680
令和5年度	9	2	11

○総合窓口設置

○本館にICTシステム導入（ICセキュリティゲート、IC自動貸出機）

◎事業の課題

- ・児童生徒1人1台のタブレット端末での電子図書の貸出が可能となったことで、電子図書の利用が増えており、今後も児童書を中心に電子図書を定期的に購入し、充実を図る必要があります。
- ・施設・設備の老朽化により計画的な更新が必要です。

◎今後の取組予定

- ・市民の生涯学習及び文化活動に寄与できる図書館として図書資料を充実し、質の高い図書館サービスを行います。
- ・移動図書館の運行や各種行事、講座、図書展示等を通じて読書活動の普及を図り、読み聞かせボランティアなど関係団体等の協力を得ながら、すべての市民の読書活動の推進を図ります。

(8) 図書館施設整備事業

〔目的〕

図書館を生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、安全で快適に利用できるよう老朽化した施設及び設備の改修を計画的に行う。

〔令和5年度実施分〕

- ・ 図書館本館空調システム部品交換 令和5年7月14日

(9) 生涯学習推進事業

市民一人一人が生涯にわたって生きがいをもち、心豊かな生活を送れるよう、時代の変化や市民のニーズに沿った多様な学習機会や学習情報を提供する。

① やっしろ市民大学

〔目的〕

市民の多様化・高度化する学習ニーズに応え、幅広い世代が参加しやすい学びの機会を提供することにより、市民の生涯学習意欲を向上させ、心豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援する。

★令和5年度実施状況 16講座(102回) 参加者総数:1,261人 ※令和6年2月末現在

講座名	開催日	回数	参加	開催場所
公開講座「夢に向かって出発・進行！」	6月15日	1	40	八代市公民館
かんたんスマホ講座	6月1日～8月17日	6	20	八代市公民館
フィットネスボクシング	6月2日～9月15日	8	26	八代市公民館
ITキャリアアップ講座	6月7日～8月9日	8	16	八代市公民館
楽しい筆ペン講座	6月7日～8月16日	6	13	八代市公民館
こころを癒すヨガ	6月8日～10月26日	9	14	八代市公民館
人生100年時代を生きるためのマナー &ライフプラン講座	6月8日～8月10日	8	13	八代市公民館
バレチェア健康体操講座	6月9日～9月22日	8	8	八代市公民館
Scratchでオリジナルゲームづくり	6月10日～8月19日	10	9	八代市公民館
かんたんスマホ講座	11月2日～1月25日	6	15	八代市公民館
ITキャリアアップ講座	11月2日～1月17日	8	14	八代市公民館
はじめてのい草手毬づくり講座	11月5日～1月28日	6	7	八代市公民館

人生 100 年時代の金融リテラシー講座	11 月 9 日～1 月 11 日	5	11	八代市公民館
もっとスマホ講座	11 月 17 日～1 月 26 日	6	20	八代市公民館
ZUMBA®と癒しのヨガ的ストレッチ	11 月 17 日～1 月 19 日	6	20	八代市公民館
公開講座「あなたの貯筋はおいくら？」	11 月 13 日	1	22	八代市公民館

◎事業の課題

- ・市民ニーズと市の課題として取り組む講座のバランスを図りながら、より魅力的な内容の講座を企画・開催していく必要があります。
- ・講座受講料の基準の設定、新たな講師の発掘が必要です。

◎今後の取組予定

- ・市の重点施策であるリカレント教育については今後も力を入れて取り組んでいきます。
- ・今後も市民へのアンケート等を実施し、ニーズの把握に努めるとともに、多くの市民に参加してもらえるよう、講座の周知を図ります。

② おでかけ公民館講座・公民館講座

〔目的〕

地域の学習機会の充実や学習活動の活性化、相互の交流を図り、市民が心豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援する。

★令和 5 年度実施状況 20 講座（43 回） 参加者総数：292 人 ※令和 6 年 2 月末現在

講座名	開催日	回数	参加人	開催場所
目指せシングルドラゴン！ トレイルランニング講座	6 月 18 日～7 月 30 日	4	16	山 ほか
おうちでできる健康づくり講座	7 月 5 日～8 月 23 日	4	13	イオン八代
藺草で染めるシルクハンカチーフづくり講座	8 月 20 日	1	11	太田郷コミセン
人生 100 年時代！ 未来のための健康プロジェクト	8 月 24 日～9 月 7 日	3	7	八代市公民館
金融リテラシー講座（新ニーサ）	8 月 25 日	1	17	八代市役所本庁舎
人生 100 年時代！ 暮らしに役立つ睡眠と健康の知恵袋	8 月 26 日	1	12	八代市公民館
はじめてのスマホ講座 in 泉	9 月 1、8、15 日	3	6	泉コミセン
スーパーフラワー講座	10 月 12 日	1	18	泉コミセン
はじめてのスマホ講座 in 麦島	10 月 13、20、27 日	3	14	麦島コミセン

怪我なく完走！ マラソン講座（初心者～中級向け）	11月25日～1月13日	3	22	県営八代運動公園
そうだったのか！植柳 ～八代の歴史の楽しみ方～	12月18日	1	48	植柳コミセン
はじめてのヨガ ～健やかな心とカラダのために～	1月17日～2月21日	6	15	八代市公民館
スポーツウェルネス吹矢講座	2月1、8日	2	10	八代市公民館
はじめてのスマホ講座 in 昭和	2月2、9、16日	3	6	昭和コミセン
わたしと家族の「そうぞく」講座	2月9、16日	2	19	八代市公民館
親子食育講座	2月12日	1	16	千丁コミセン
椅子ストレッチと体幹トレーニング	2月19日	1	10	東陽コミセン
フィットネスボクシング講座	2月28日	1	19	郡築コミセン
Chat GPT 入門講座	3月23日	1		八代市公民館
三角さんの英語講座	3月23日	1		八代市公民館

集計（①+②）

年度	講座数	回数	のべ参加者
令和4年度	28	136	1,842
令和5年度	36	145	1,741

◎事業の課題

おでかけ公民館講座は公民館から遠い地域への取組として、今後も定期的に各校区のコミュニティセンター等で実施していく必要があります。

◎今後の取組予定

「はじめてのスマホ講座」は令和3年度から各校区のコミュニティセンターで開催しており令和6年度は3か所で開催予定です。令和7年度に全校区開催を終える予定です。

③ 公民館講座WEB版・かわら版

〔目的〕

新しい生活様式に対応するため、学習講座をオンライン配信する等、市民が「いつでも、どこでも」学ぶことができ、心豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援する。

〔令和5年度実績〕

- 9月：令和4年度活動報告（おでかけ）公民館講座、かわら版、WEB版）
- 1月：ダンボール窯でピザづくり（WEB版）

◎事業の課題

- ・かわら版は、事業の報告だけでなく、市民の生涯学習につながる記事内容及び市民に関心を持ってもらえる内容にし、広く周知を図る必要があります。
- ・WEB版はより内容を丁寧に分かりやすく伝える工夫が必要です。

◎今後の取組予定

WEB版は家にいながら受講でき、また繰り返し学べる利点もあります。また、公民館に来ることができない方へ向けた取組としての側面もあることから、今後も定期的に配信していきます。

④ 家庭教育学級

[目的]

小・中学校や幼稚園、保育園ごとに家庭教育学級を開設し、学習支援を行うことで家庭の教育力向上を図る。

[令和5年度研修会等開催実績]

○令和5年度家庭教育学級運営委員研修会

日時：令和5年5月19日（金）

場所：八代市公民館

参加者数：47人

内容：・運営に関する説明

- ・親の学びプログラム「つながろう・つなげよう」

講師：塩田 千恵 氏（八代市社会教育指導員）

- ・講話「子育ては、みな初心者～子育て、しっかり味わえていますか？～」

講師：木本 芳照 氏（八代市社会教育指導員）

○令和5年度家庭教育学級学習会

日時：令和5年10月13日（金）

場所：八代市公民館

参加者数：39人

内容：・講師謝礼に関する説明

- ・親の学びプログラム「上手なほめ方、しかり方～IメッセージとYouメッセージ～」

講師：塩田 千恵 氏（八代市社会教育指導員）

- ・講話「わが家の情報モラル～スマホやネット利用を通して～」

講師：木本 芳照 氏（八代市社会教育指導員）

○家庭教育学級通信 1月発行

[令和5年度開設状況]

家庭教育学級：61学級（令和5年度新規開設：0学級）

校区	開設学校・園名（学級名）	未開設	校区	開設学校・園名（学級名）	未開設	
代陽	代陽小学校（北の丸）	1園 1校	宮地	第八中学校	1園	
	代陽幼稚園			宮地小学校（妙見）		
	聖愛幼稚園			宮地さくら保育園		
	つるまる保育園			かわたけ保育園		
八代	八代小学校（白い鳥）	3園	日奈久	日奈久中学校	-	
太田郷	太田郷小学校（若葉）	6園 1校		日奈久小学校（山鳩）		
	太田郷幼稚園（おおぞら）			天真保育園		
	太田郷ひびき保育園			みずほ保育園		
植柳	植柳小学校	1園	昭和	昭和小学校	-	
	植柳幼稚園		昭和保育園			
麦島	麦島小学校	3園 1校	二見	二見中央保育園	2校	
	麦島幼稚園		光嶺保育園			
松高	松高小学校（松の芽）	2園	龍峯	龍峯小学校	-	
	八代支援学校		千丁	千丁幼稚園	2園	
	松高幼稚園			千丁みどり保育園	2校	
	杉の実保育園			鏡	鏡小学校	4園 1校
八千把	第四中学校	2園	有佐小学校			
	八千把小学校		文政小学校			
	八千把こども園		有佐保育園			
	わらび保育園		鏡しらぬい保育園			
	わかみや保育園		鏡保育園			
高田	高田東部保育園	1園・1校 休止中1校	鏡第二保育園	坂本	八竜小学校	1園 1校
	高田あけぼの保育園		真愛保育園			
金剛	第六中学校	-	東陽	太陽保育園	2校	
	金剛小学校		河保保育園			
	ひので保育園		泉	泉小学校	-	
	金剛みどり保育園			泉中学校		
	揚町保育園			泉第八小学校		
郡築	郡築小学校	1園 1校	下岳保育園			
	郡築しおかぜ保育園					
	白島ぎんが保育園					

◎事業の課題

未開設の園や学校があります。

◎今後の取組予定

家庭教育学級運営委員研修会等の場を通して未開設園・校に対し、家庭教育学級を開設したことによるメリットなどを周知する機会を設け、開設を促します。また、もっとわかりやすく、開設したくなるようなチラシを作成し配布します。

(10) 生涯学習推進大会「第14回まなびフェスタ やつしろ」

〔趣 旨〕

様々な学びの場や活動を紹介し、学習成果発表の機会を設けることで、市民に生涯学習の普及啓発を図り、学習活動への参加を促進する。

〔令和5年度実績〕

- ・開催日 令和5年12月9日（土）
- ・会場 八代市公民館、八代市立図書館せんちょう分館
- ・来場者数 八代市公民館、八代市立図書館せんちょう分館
- ・内 容
 - I. ホール部門 総合司会：熊本県立清流高等学校放送部
 - (1) オープニング 八代白百合学園高等学校吹奏楽部
 - (2) 講演会
講師：竹村 亮子 氏
人生100年時代！健康寿命を延ばす秘訣は「お〇〇」にあり
 - (3) 生涯学習自主講座クラブ活動発表 ※5クラブ
 - II. 体験活動部門
 - (1) 市内の高校による体験活動
八代工業高等学校・八代農業高等学校泉分校・
熊本高等専門学校八代キャンパス
 - (2) 八竜天文台イベント（立体星座”オリオン座”を作ろう）
 - III. 展示部門
 - (1) 生涯学習課事業活動紹介（公民館講座等）
 - (2) 生涯学習自主講座クラブ作品展示 ※7クラブ
 - (3) 家庭教育学級活動報告
 - (4) 放課後子ども教室動画上映
 - (5) 人権啓発作品展示
 - (6) 地域学校協働活動紹介
 - (7) やつしろ市民大学講座作品展示
 - (8) 八代市社会教育団体活動報告及び作品展示
八代地域婦人会連絡協議会・八代市子ども会連合会
八代市PTA連絡協議会
 - IV. その他
 - (1) 食バザー「まなびマルシェ」 ※6団体
 - (2) 図書館お話し会スペシャル

◎事業の課題

今後も他の教育機関や団体等と連携しながら、幅広い世代へ来場してもらえる内容となるよう工夫していく必要があります。

◎今後の取組予定

八代市における様々な学びの場や活動を紹介し、学習成果の発表の機会を設けることにより、市民の生涯学習への理解と意欲を高め、学習活動への参加を促していきます。

(11) 公民館等施設整備事業

市民がいつでも学びたいときに学習ができる公民館を整備するため、限られた予算の中で優先度が高いものより整備改修を行った。

[令和5年度の主な実績]

- ・ 八代市公民館吊天井改修建築工事 33,476 千円
- ・ 八代市公民館吊天井改修電気設備工事 31,130 千円

[八代市公民館ホール利用状況の推移]

(単位：件・人)

年度	ホール		舞台		ホワイエ		リハーサル室		楽屋等	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R3	65	3,848	40	1,515	28	2,214	170	2,298	41	670
R4	53	5,704	33	2,323	21	1,690	158	2,367	29	768
R5	35	3,593	12	890	14	1,162	147	1,750	21	485

[八代市公民館会議室等利用状況の推移]

(単位：件・人)

年度	会議室 (A・B)		研修室		生涯学習室		和室 (A・B)	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R3	141	4,940	151	2,825	71	624	21	803
R4	147	4,840	163	2,777	26	286	47	960
R5	141	4,952	126	1,997	40	445	68	1,015

◎事業の課題

築後27年が経過し施設全体の劣化、破損が進んでいることから、安全面での対策などが必要となっています。

◎今後の取組予定

社会教育活動の拠点として、安全安心に利用できるよう、老朽箇所などの洗い出しを行い計画的に整備を進めていきます。

(12) 自治公民館整備補助事業

自治公民館の施設設備の整備・充実に要する経費に対し、八代市社会教育施設（自治公民館）整備費補助金交付要綱により補助金を交付した。

[補助基準]

ア 新築、増築、全面改築又は中古購入の場合（延床面積が50㎡以上のものであること。）は総事業費の50%

ただし、延床面積が50～150㎡の場合は上限200万円、延床面積が150㎡を超える場合は上限300万円

イ 修繕等の場合（総事業費が20万円以上のものであること。）は、総事業費の50%（限度額：50万円）

ウ 上記アの補助金を受けた事業者は、翌年度から起算して20年間、また、上記イの補助金を受けた事業者は、翌年度から起算して3年間は、それぞれこの補助金の交付を受けることができない。

[令和5年度実績]

新築 0件

修繕等 21件 補助金額 6,182千円

※自治総合センターコミュニティ助成金

1件 補助金額 15,000千円

◎事業の課題

自治公民館の運営状況を十分把握したうえで、実態に合わせた支援を行う必要があります。

◎今後の取組予定

令和6年度に自治公民館の改修等を予定している12校区17カ所の自治会等に対し、令和6年度事業として、補助を行っていきます。

(13) みんなの家事業

令和2年7月豪雨で被災した公民館に替わる「みんなの家」は、日本財団が整備に要する経費を補助し、地区住民等の意見を反映して被災地区の創造的復興に向けた地域づくりの拠点として活用する。

なお、完成後は一旦本市が受入先となり、管理を地区自治会とし、地区自治会に引き渡した。

[みんなの家建設]

事業主体：一般財団法人熊本県建築住宅センター

協働事業者・資金助成：日本財団

① 中津道・三坂地区みんなの家（整備面積60㎡）

着工：令和5年2月

竣工：令和5年6月末

② 藤本・大門地区みんなの家（整備面積 100 m²）

着工：令和5年4月

竣工：令和5年8月末

（14）その他社会教育関連事業

① 令和5年度第65回全国社会教育研究大会宮崎大会・第53回九州ブロック社会教育研究大会・令和5年度宮崎県社会教育委員研究大会

- ・参加者 米村社会教育係長
- ・期 日 令和5年11月9日（木）～10日（金）
- ・会 場 宮崎市民文化ホール
- ・大会スローガン つなぎ・つながり・つなげよう！未来へのたすき！！
～日本のひなた宮崎からはじまる明日の社会教育～

② 令和5年度熊本県社会教育研究大会・第68回熊本県公民館研究大会

- ・参加者 （実行委員）生田委員、倉野委員、高崎課長
（事務局）高崎課長、米村社会教育係長、満永参事、鶴田参事
- ・参加者総数 491人
- ・期 日 令和5年9月29日（金）
- ・会 場 桜十字ホールやつしろ
- ・テ ー マ 人づくり、地域づくりから学び、広げ、未来へつなぐ
- ・内 容 講演「人生100年時代に向けた学びの必要性について」
講師：中村 まこと 氏（株SUNABAKO 代表）
- ・アトラクション 「大鞆節」（八代新地大鞆節保存会）
- ・事例研究 事例1「東陽町の人づくり、地域づくりについて」
報告：橋永 高德 氏
事例2「ふるさとの大地に輝く氷川っ子のために」
～つながりを大切に～
報告：古閑 由美 氏、稲本 眞理 氏

2. 令和6年度 事業計画（案）について

(1) 人権教育事業

- 各種大会・研修会への参加を通じ、重要な人権課題の把握に努める
- 社会教育指導員や専門講師等を活用し、様々な学習機会の提供を行う
- 校区との協働による人権啓発の取組及び、解放学習等への委託や支援を継続
- 人権教育活動の拠点である西宮・上日置集会所の維持管理を行う。

① 人権のまちづくり事業

3校区を推進校区に指定し、各コミュニティセンターへ啓発ポスターの掲示や、コミセンだよりへの記事掲載及び地域イベントでの啓発など、地域と一体となった取り組みを行い、地域住民への人権意識の高揚を図る。

② 様々な学習機会の提供

家庭教育学級や公民館講座などを積極的に活用するとともに、研修会や社会教育指導員によるミニ講座を開催し学習機会の確保を行う。

[実施予定研修会等]

- ・令和6年度『八代市社会教育団体等人権教育研修会』（11～12月予定）

③ 連携事業

○八代人権同和教育推進協議会【八同推協】との連携

- ・第48回八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会 2024年7月27日(土)
- ・八代人権同和教育推進協議会「総括学習会」 2025年2月4日(火)

○部落解放同盟八代支部との連携

- ・2024八代地区人権同和教育夏期現地研修会 7月下旬～8月上旬

○八代地域人権教育のための推進会議【推進会議】との連携

- ・2024人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ 12月

○熊本県人権教育研究協議会【県人教】との連携

- ・第75回全国人権・同和教育研究大会

兼 第50回九州地区人権・同和教育夏期講座、第52回熊本県人権教育研究大会
2024年11月30日(土)～12月1日(日)

全体会場：熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール

分科会場：熊本市、玉名市、八代市、水俣市、久留米市、大牟田市、鹿児島市

※八代市における分科会場（予定）：八代市公民館、桜十字ホールやつしろ

(2) 地域学校協働活動事業

地域学校協働本部を中心に、市内全ての小・中・特別支援学校（39校）において活動を実施する。地域コーディネーターを委嘱するとともに、統括コーディネーター（市社会教育指導員）による学校訪問等を行うことにより引き続き支援を行う。

併せて、「地域未来塾」や「放課後子ども教室」についても地域の実情に合わせて継続して実施する。

令和2年度以降、地域学校協働本部の強化事業として位置付けている不登校・別室登校児童生徒に対する支援については、令和6年度も継続して強化事業として位置づけ、対応を強化していく。

(3) 二十歳の集い

令和4年4月1日に成年年齢が引き下げられたが、八代市ではこれまで通り20歳を対象にし、名称を二十歳の集いに変更し、実施している。

年度中に20歳となる実行委員で組織された実行委員会にイベント等の企画運営を委託。

- ・対象者 平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの人
1,011人（令和6年1月末現在）
- ・開催日 令和7年1月12日（日）午後2時開式（予定）
- ・会場 八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）（予定）

(4) 社会教育関係団体育成事業

社会教育団体の健全育成、活性化を促進し、生涯学習社会の構築を推進するため、社会教育関係団体の活動に対して助成等を行う。

〔助成実施予定団体〕

- ・八代市地域婦人会連絡協議会
- ・八代市子ども会連合会
- ・八代市PTA連絡協議会

(5) 青少年体験活動事業

家庭や学校では、体験できない野外活動等を取り入れた青少年体験活動事業を実施し、次代を担う青少年の健全育成を図る。

〔実施予定事業〕

- ・キッズチャレンジ2024
アウトドアスクール(令和6年7月24日～26日 豊野少年自然の家)
陶芸教室(令和6年8月1日 赤星公園)
宿泊体験活動、親子体験活動 計4事業

(6) 社会教育施設管理運営事業

市民に学習・研修・スポーツ・趣味を楽しむ機会を提供する生涯学習のための施設として整備する。

[実施予定工事]

深水社会教育センターグラウンド側溝改修工事 4, 961千円

(7) 図書館管理運営事業

図書館運営方針の着実な履行と指定管理者による適切な管理運営が行なわれるよう指導・助言、進捗調整を行い、市民に親しまれる図書館運営の実現を目指す。

- ・八代市子ども読書活動推進計画（第三次）による取組（児童生徒向けの電子図書購入、学校等への出前講座や団体貸出配本の推進）
- ・指定管理者更新に伴う選定作業
- ・移動図書館巡回ルートの見直し

(8) 生涯学習推進事業

時代の変化や市民のニーズに沿った多様な学習機会や学習情報を提供する。

特に時代の変化に応じたスキルが学べるリカレント教育や誰一人取り残さないデジタル社会実現に向けた学習活動等に取り組む。

① やつしろ市民大学

○前期

かんたんスマホ講座、エクセル講座、ファイナンシャルプランニング講座、防災講座、金融リテラシー講座、太極拳講座、ズンバ講座、パッチワーク講座
計8講座予定

○後期開催予定

ITキャリアアップ講座、かんたんスマホ講座、マラソン講座、ヨガ講座等
計8講座予定

② おでかけ公民館講座・公民館講座

はじめてのスマホ講座（一中校区・金剛・東陽）、食育講座、人権講座、終活講座、歴史講座、フラワーアレンジメント講座、小学生向けプログラミング教室等
計16講座

③ 公民館講座WEB版・かわら版

家庭教育講座、食育講座、人権教育講座等計 5本配信予定

④ 家庭教育学級

家庭教育学級研修会 計 2 回開催予定

家庭教育通信 計 1 号発行予定

(9) 生涯学習推進大会「第 15 回まなびフェスタ やつしろ」

世代間交流や地域間交流を活性化し、より良い人づくり、まちづくりに繋げることを目的として、八代市における様々な学びの場や活動を紹介し、学習成果の発表の機会を設ける。

- ・開催日 令和 6 年 12 月 14 日 (土) (予定)
- ・会場 八代市公民館及び周辺施設 (予定)
- ・参加団体 社会教育団体、生涯学習自主講座クラブ、市内各高校など
- ・内容
 - I. ホール部門 (講演会、学習クラブ活動発表など)
 - II. 体験活動部門 (市内高校生や八竜天文台による体験コーナーなど)
 - III. 展示部門 (講座の活動紹介、学習クラブ成果発表など)
 - IV. その他 (食バザー、図書館イベント)

(10) 公民館等施設整備事業

八代市公民館に対する市民のニーズは大きく変化し、多様化してきていることから、市民がいつでも安全で安心して学び、交流することができる施設として計画的な整備改修を進める。今年度は通常修繕のみ。

[施設設備修繕料]

5 2 6 千円

(11) 自治公民館施設整備費補助事業

町内住民の地域づくり等の集会その他の社会教育活動を行うための自治公民館の整備に要する経費の一部を補助する。

[補助予定自治会]

修繕等 17 件

補助金額：5, 241 千円

(1) 令和5年度八代市地域学校協働活動事業計画における事業の報告

① 様々な学校協力活動

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの育成を支えていく「地域学校協働活動」を推進するために、学校と地域とをつなぐ「地域学校協働活動推進員」（地域コーディネーター）を市内の全39の小・中・特別支援学校に配置（33名）し、様々な学校協力活動を実施した。

〔取組の内容〕

授業補助（家庭科・書写・俳句・G T招聘等）、登下校見守り、愛校活動支援、学校菜園活動補助、クラブ活動講師連絡、校外活動補助など



家庭科基礎縫い



キャリアセミナー



こんにゃく作り体験



絵手紙 子ども達からの年賀状



門松作り体験



トートバッグ作り

② 地域未来塾

経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に対して地域住民の協力による学習支援を行った。

また、令和5年度から不登校問題に対する取組みの位置付けを、学力向上を目的とした地域未来塾から、様々な学校協力活動での支援に変更し、学力だけでなく、児童生徒の話の傾聴や、相談に応じるなど、コミュニケーションにも重きを置くことにより、学校に行きやすいように、学校での居場所づくり等の環境整備を行った。

[令和5年度実施校] (令和5年11月末現在)

実施校 6校 延べ参加生徒 908人 延べ実施回数 95回

○第四中学校

参加生徒：生希望する生徒（1～3年生）

実施時間：毎週水曜日の放課後 2時間程度

科目：英語、数学、理科、社会

実績：実施回数24回、延べ102人

○第六中学校

参加生徒：希望する生徒（3年生）

実施時間：曜日の指定なし 2時間程度

科目：英語、数学

実績：実施回数35回、延べ238人

○第八中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中 3時間程度

科目：夏休みの課題、英語

実績：実施回数3回、延べ39人

○日奈久中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中 2時間程度

科目：夏休みの課題、国語（俳句、文法）

実績：実施回数8回、延べ115人

○二見中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：毎週水曜日または金曜日の放課後を基本 2時間半程度

科目：英語、数学

実績：実施回数20回、延べ211人

○千丁中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中 2時間程度

科目：夏休みの課題

実績：実施回数5回、延べ203人



地域未来塾の様子

③ 放課後子ども教室

放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施した。

〔令和5年度実施校〕（令和5年12月末現在）

○昭和小学校

参加児童数：22人（1年生10人・2年生4人・3年生8人）

実施時間：毎週月曜日14時50分～16時20分

内容：宿題サポート、おはなし会、ゲーム大会、パズル遊び、工作教室、和太鼓体験、空手体験 など

令和5年度実績：24日 参加者延べ377人

※3年生は月に1度（和太鼓）のみ

○泉小学校

参加児童数：9人（1年生4人・2年生5人）

実施時間：毎週火曜日及び金曜日の14時30分～16時00分

内容：宿題サポート、塗り絵、折り紙、七夕飾り、レクリエーション、工作教室、体育館で遊ぼう バルーンアートなど

令和5年度実績：40日、参加者延べ346人



太鼓の練習



バルーンアート体験

④ 広報活動

地域学校協働本部の取組を紹介する広報誌「協働本部だより（つなぐ）」を年4回発行し、すべての地域コーディネーターや教職員へ配信し、保護者を対象としては「安心安全メール」を活用した周知を実施した。

また市報10月号及び地域コミセンだよりを活用して事業の周知と、ボランティアスタッフを募集した。

⑤ 人材確保

地域住民のボランティア協力について、広報やつしろ10月号及び各コミセンだより（1月号以降）に記事を掲載。また、ボランティア人材バンクリストの登録者には地域学校協働活動の現状と登録の継続を呼びかけた。今後も継続して人材バンクリストへの登録を推進していく。

○令和5年度 23件（新規追加 1件）

⑥ 連絡調整会議

地域コーディネーター間の情報共有や協働活動における課題解決に向け、連絡調整会議を随時実施。

- (1) 地域コーディネーター同士の交流及び情報交換会（5月31日）
- (2) 八代地区の地域コーディネーター及び教育委員会職員による意見交流会（7月4日）
- (3) 文政小学校において、芋掘りとキャリアセミナーの現地研修及び意見交換会（10月23日）
- (4) 八代地区の地域コーディネーター及び教職員、教育委員会職員による意見交流会及び実践発表会（11月27日）
- (5) 退職校長会員を交えての地域コーディネーター同士の交流及び情報交換会（2月8日）

⑦ 不登校・別室登校対策（令和5年度強化事業）

本市の重要な教育課題の一つである不登校・別室登校対策について、学校と保護者だけでなく、関係機関、地域住民等の連携・協働体制を構築し、社会総掛かりで対応し、誰一人取り残すことのない教育環境の構築を目指す。

[令和5年度の取組内容]

- (1) 地域未来塾を引き継いだ活用型
 - ・内 容…昨年度まで実施していた地域未来塾を継続し、校区に住む退職教員が別室登校生徒に対して個別に学習支援を実施
 - ・実施校…第三中学校、鏡中学校

- (2) 主任児童委員・退職教職員等地域人材との連携型
 - ・内 容…地域学校協働活動事業（報償費）を活用、またはボランティア人材を活用し、別室登校児童・生徒への学習支援や話し相手となる支援を実施
 - ・実施校…太田郷小学校、植柳小学校、第一中学校、第二中学校、千丁中学校

(3) 地域における居場所づくり

- ・内 容…学校外の施設を利用し、八代高校・八代中学校の生徒たちによる、外国にルーツを持つ児童や不登校児童への学習支援や話し相手となる交流を実施（地域コーディネーター及び校区住民自治の青少年育成部会や学校と連携した取組）
- ・実施校…代陽小学校



活動の様子

(4) 外国にルーツを持つ児童の学習支援

- ・内 容…退職校長会の地域担当のコーディネートにより実現。
週に3時間、4人のサポーターが交代で支援。ひらがなや短文の練習だけでなく、算数の支援も行われている。
- ・実施校…代陽小学校



学習支援の様子

⑧ その他

- (1) 先生たちとの意見交換会
- (2) 学校訪問

令和5年度「地域学校協働活動」の主な実践事例（12月末現在） ※報償費を伴う事業

学校名	取組名
代陽小	1年サツマイモ苗植え補助
	3年町探検北・南コース補助
	1・2年交通教室補助
	放課後学習会（Smilingフレンド）
	外国籍児童への日本語支援
	3年生校外学習補助
	協働活動（6年生ぜんざい作り）
太田郷小	トイレ除菌作業
	登校交通指導
	校内除草作業
	書写学習支援
	6年ミシン実習サポート
	3年史跡巡り支援
	1～3年交通指導教室支援
	個別学習支援
	広報誌作成、印刷、配布
	2年町探検
	1年焼き芋作り
植柳小	1年下校補助
	交通安全教室
	クラブ活動支援
	学習支援
	うやなぎ子供の家連絡調整
	七夕おやじの会
	子どもを守る家対応
松高小	地域コーディネーター通信作成
	プール補助
	町探検補助
	ミシン指導補助
金剛小	稲作り（稲作行程と脱穀）
	自転車講習会
高田小	登校見守り
	米作り体験活動
	プール見守り補助
	4年認知症養成講座
	町探検サポート
	6年ミシン学習手伝い
	5年調理実習手伝い
八千把小	畑の畝作り
	2年芋の苗植え、芋掘り、焼き芋
	3年書道補助
	6年家庭科ミシン補助
	6年調理実習補助
郡築小	1年生下校見守り
	運動会補助
	5年家庭科学習補助
	クラブ活動（手芸）補助

学校名	取組名
郡築小	2年生活科町探検引率補助
	1年生活科どんぐり遊び補助
八代小	下校見守り
	交通安全教室
	クラブ活動支援
	引き渡し訓練
	町探検依頼、準備、引率
宮地小	交通教室
	5年・6年稲刈り支援
	持久走大会安全支援
日奈久小	持久走練習・大会見守り
二見小	プール掃除
	読み聞かせ
	校区体験見守り
	美化作業
	雨乞い踊り指導
	放課後見守り
	校区体験見守り
龍峯小	3年校区探検サポート
	校区探検案内
	藤棚剪定作業
	本の読み聞かせ
	5年家庭科エプロン製作支援
	1年校外学習（まちたんけん）
麦島小	1年生下校見守り
	3年総合学習（麦島音頭）
	放課後見守り
	6年家庭科ミシン補助
	講演会「ようこそ先輩」
	3年消防団の話
	3年地域見守りの話
読み聞かせ	
昭和小	放課後子ども教室
	5・6年家庭科裁縫サポート
	5・6年家庭科調理実習見守り
八竜小	米作り活動（田んぼ整備、種まき、田植え）
	採点支援・教材づくり・掲示物作成補助
千丁小	1年下校指導見守り活動
	2年まち探検見守り活動
	3年社会科まち探検
	4年「千丁町の干拓」
	4年「千丁に生きる～共に生きる為に～」
	6年「人権の花」栽培活動
鏡小	読み聞かせ
	読書感想画賞状筆耕
	作品展等の表彰状書き
	運動会駐車場管理、交通指導

令和5年度「地域学校協働活動」の主な実践事例（12月末現在） ※報償費を伴う事業

学校名	取組名
鏡小	樹木衝動
	引き渡し訓練駐車場管理、交通指導
有佐小	環境整備（校庭樹木等）
	有佐小絵画交換
	交通安全教室補助
	歓迎遠足見守り活動
	1～6年読み聞かせ
	2年朝自習
	2年校外学習補助
	3年総合学習GT
	3年校外学習補助
	5年ミシン掛け
	6年有佐駅周辺美化作業
	特別支援学級児童との花植え
	芋の苗植え
	ふるさと発見ウォーキング
	ギャラリー絵交換作業
	特別支援学級クリーン作戦支援
文政小	タマネギ収穫、トウモロコシ植え
	遠足見守り
	芋掘り、畑整備
	地域体験サポート
	絵手紙指導
	トウモロコシ収穫支援
	総合的な学習（文政の産業）
	書写指導
	ミシン指導
	通学路の点検、安全マップ作り
	読み聞かせ
	グラウンド整備
	芋掘り、キャリアセミナー
	レタスの苗植え支援
東陽小	就任式、始業式、入学式写真撮影
	プール開き写真撮影
	銭太鼓用具修理・補正
	給食用 栗剥き補助
	しょうが掘り指導、手入れ
	卒業アルバム用写真撮影
	東陽文化の祭典写真撮影
	持久走見守り・写真撮影
泉小	放課後子ども教室
泉八小	桜の添え木立て
	花壇の手入れ、除草作業
	プール清掃支援
	体験活動(田植え・稲刈り・脱穀)
	校内美化作業
	運動会準備支援

学校名	取組名
泉八小	縦木神楽の歴史講話
	門松づくり支援
	ゆず料理体験学習支援
一中	サポーターによる別室登校生支援
二中	絵手紙講座
	門松づくり
三中	サポーターによる別室登校生支援
四中	地域未来塾（学習支援）
五中	校内ハローワーク
	1年地域調べ学習
六中	地域未来塾（学習支援）
七中	農業体験
八中	みやじ学
	地域未来塾(夏休み対応)
	耐寒・鍛錬遠足
日奈久中	イチゴ狩り
	俳句教室
	地域未来塾(夏休み対応)
	美化作業
	日奈久小中合同クリーン作戦
一人一鉢いちご栽培	
二見中	地域未来塾（学習支援）
坂本中	地元体験学習(川遊び)
千丁中	サポーターによる別室登校生支援
	職場体験打合せ
	地域未来塾(夏休み対応)
	書写指導支援
鏡中	サポーターによる別室登校生支援
東陽中	小中合同運動会写真撮影
	家庭科裁縫・ミシン補助
	読み聞かせ
	伝統文化道具づくり
	文化祭写真撮影
泉小中	門松づくり補助
	持久走大会写真撮影
	下校便のバスの見守り
	花壇整備
八代支援	運動場整備
	スクールバス駐車場整備
	清掃ボランティア
	門松づくり指導
八代支援	引き渡し訓練
	避難訓練

- ・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）出席
- ・情報収集のための学校訪問
- ・校内打合せ（管理職・担当職員等）
- ・学校ボランティア募集
- ・地域コーディネーター連絡調整会議（協働本部主催）出席

令和5年度 地域学校協働活動アンケート調査 小・中・特別支援学校

このアンケートは、学校と地域の協働体制を構築し、組織的かつ継続的な取り組みとするため、毎年度、効果検証を行い、翌年度以降の活動に反映させることを目的実施しました。調査結果は、今後の八代市地域学校協働本部の基礎資料として活用していきます。

※調査期間 令和6年1月17日～1月26日

回答数	39校
-----	-----

【問 1】 地域学校協働本部では、地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）をすべての学校に配置し3年目となりました。配置をしてよかったですか？

項目	回答数	割合
そう思う	36	92.3%
ややそう思う	3	7.7%
あまり思わない	0	0.0%
全く思わない	0	0.0%
合計	39	100.0%

前年度と変わらず、すべての学校が、地域コーディネーターを配置してよかったですと感じていることがわかりました。

【問 2】 教職員は地域コーディネーターを活用していると思いますか？

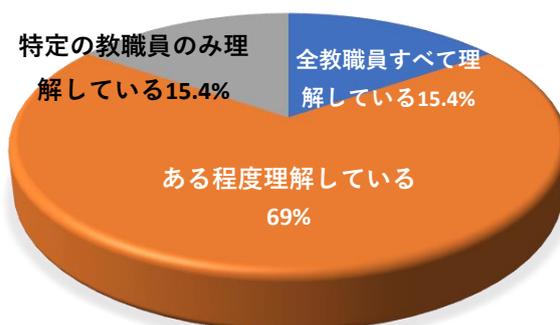
項目	回答数	割合
よく活用している	11	28.2%
活用している	23	59.0%
あまり活用していない	5	12.8%
全く活用していない	0	0.0%
合計	39	100.0%

コロナ禍から脱却したこともあり、「あまり活用していない」の学校が1減となり、「よく活用している」の学校2増となった。

【問 3】 地域学校協働活動の概要や取り組みについて、教職員は理解していますか？

項目	回答数	割合
全教職員すべて理解している	6	15.4%
ある程度理解している	27	69.2%
特定の教職員のみ理解している	6	15.4%
あまり理解していない	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	39	100.0%

殆どの学校において、地域学校協働活動の概要や取り組みを理解して実施しているということがわかりました。



【問 4】 地域学校協働活動は、学校教育目標の達成や教育課題の解決につながるとおもいますか？

項目	回答数	割合
十分効果が得られると思う	25	64.1%
効果があると思う	10	25.6%
ある程度効果があると思う	4	10.3%
効果は得られないと思う	0	0.0%
合計	39	100.0%

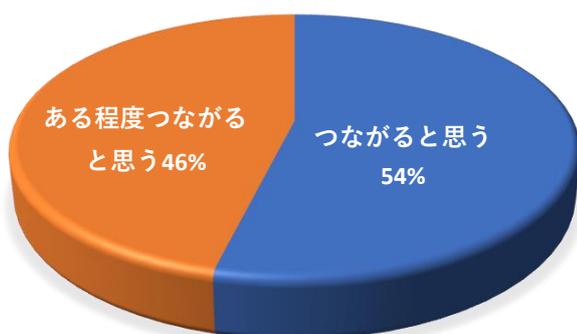
殆どの学校において、地域学校協働活動は、学校教育目標の達成や教育課題の解決につながり、効果が得られると思っているということがわかりました。



【問 5】 地域学校協働活動を推進していくことで、学校における働き方改革につながるとお考えですか？

項目	回答数	割合
つながると思う	21	53.8%
ある程度つながると思う	18	46.2%
あまり効果は得られないと思う	0	0.0%
合計	39	100.0%

昨年度は「あまり効果は得られないと思う」の回答が3校あったため、活動に対する理解をいただいていることがわかりました。



【問 6】 貴校のコミュニティスクール(学校運営協議会)では、地域学校協働活動について議論を行っていますか？

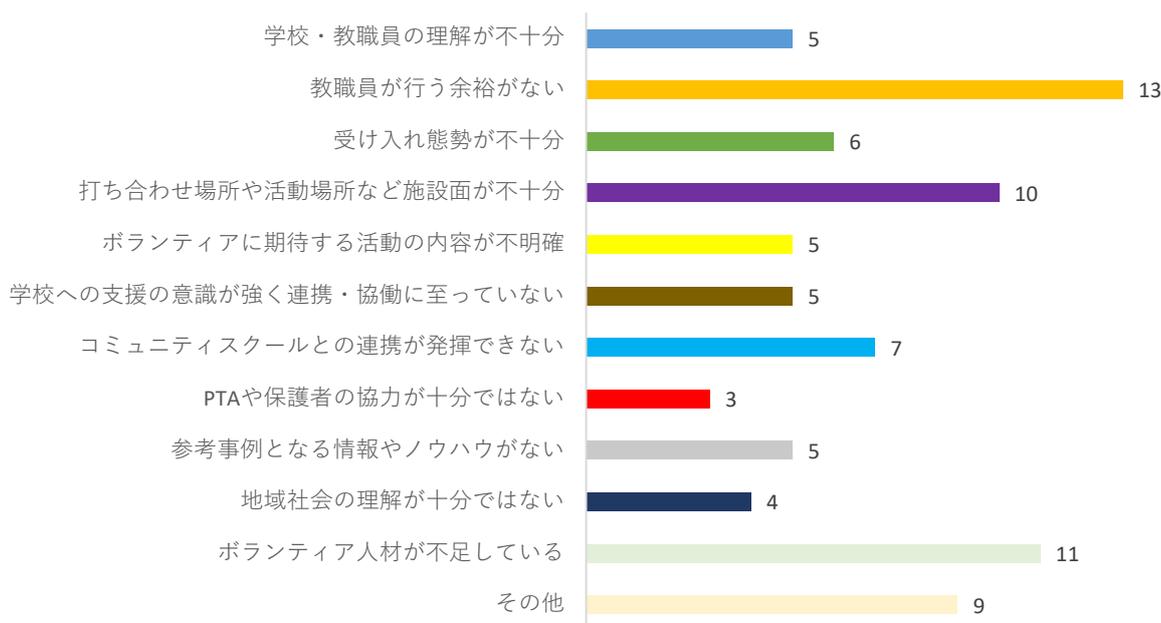
項目	回答数	割合
よく議論をしている	15	38.5%
議論をしたことがある	22	56.4%
あまり議論にならない	2	5.1%
その他	0	0.0%
合計	39	100.0%

昨年度は「あまり議論にならない」が6校、「議論ができていない」が1校の回答があったが、コミュニティスクールの中で地域学校協働活動についての議論が前進していることがわかりました。引き続き地域学校協働活動について議論を深めてもらえるよう働きかけを行って参ります。

【問 7】 地域学校協働活動を実施する上で、捉えている課題は何ですか？
（複数回答可）

項目	回答数	割合
学校・教職員の理解が不十分	5	6.0%
教職員が行う余裕がない	13	15.7%
受け入れ態勢が不十分	6	7.2%
打ち合わせ場所や活動場所など施設面が不十分	10	12.0%
ボランティアに期待する活動の内容が不明確	5	6.0%
学校への支援の意識が強く連携・協働に至っていない	5	6.0%
コミュニティスクールとの連携が発揮できない	7	8.4%
PTAや保護者の協力が十分ではない	3	3.6%
参考事例となる情報やノウハウがない	5	6.0%
地域社会の理解が十分ではない	4	4.8%
ボランティア人材が不足している	11	13.3%
その他	9	10.8%
合計	83	100.0%

その他
学校が求める人材の確保が難しい場合がある
学校職員やコーディネーターが、変わっても継続可能かどうか？
現状の支援及びこれまでの取組でなんとかなっていることが多く、新たに組織を作って動くことがあまりない
自校に上記の選択肢にあてはまる課題は明確には見受けられないが、鋭意充実を図っていかなければならないと認識している
十分な打ち合わせの時間の確保
地域コーディネーターさんには、子供たちのため、学校のために大変よくしてもらっています。活動の実施については、大きな課題はありません。
地域コーディネーターの人選が困難である。
報償費（謝金）が安く、申し訳ないと感じることがある。
来てくださる地域の方々に出すお茶代がない（消耗品代として認めてほしい）

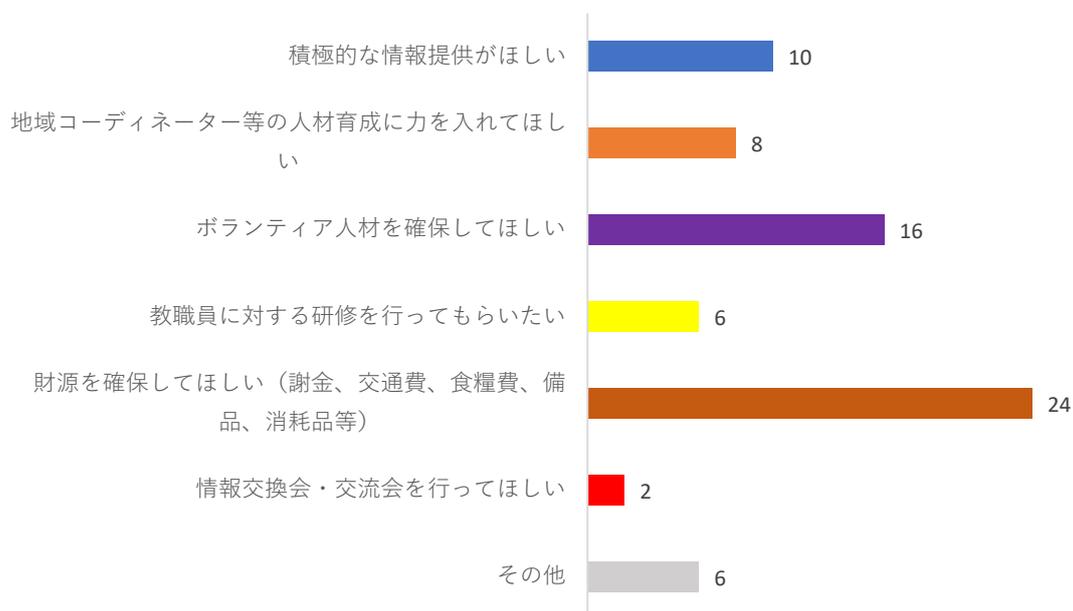


地域学校協働活動を実施する上での課題としては、「教職員が行う余裕がない」が一番多く、次いで、「ボランティア人材が不足している」や「打ち合わせ場所や活動場所などの施設面が不十分」などが昨年度と同様の結果となりました。

**【問 8】 八代市地域学校協働本部の支援策についてお聞かせください
（複数回答可）**

項目	回答数	割合
積極的な情報提供がほしい	10	13.9%
地域コーディネーター等の人材育成に力を入れてほしい	8	11.1%
ボランティア人材を確保してほしい	16	22.2%
教職員に対する研修を行ってほしい	6	8.3%
財源を確保してほしい(謝金、交通費、食糧費、備品、消耗品等)	24	33.3%
情報交換会・交流会を行ってほしい	2	2.8%
その他	6	8.3%
合計	72	100.0%

その他
コロナ禍のため、活動ができなかった状況が続いたため、活動の広がりがまだまだ不十分なこともありますが、今後とも予算を削らないようにしていただければ、活動を充実させていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。
研修や情報提供はこれまでもしていただいていた、とてもありがたいと思っています。今年度までの実践等によりある程度年間の計画が確立し、スムーズに運営・実践ができるようになってきている。今後も研修や情報提供をいただきながら活動の充実を図っていきたく思っている。
十分支援していただいていると思います。
地域コーディネーターさんを今以上に支援していただければ、学校としてもありがたいです。
地域のボランティア人材の一覧があるとありがたいです。
本校では、現在、地域学校協働活動が活発に行われているが、この活動が継続させていくための取り組みが必要である。



八代市地域学校協働本部の支援策は、「積極的な情報提供がほしい」が大きく減少し、実際に活動に要する「財源を確保してほしい」、「ボランティア人材を確保してほしい」という要望が多いことがわかりました。

【問 9】 その他、地域学校協働活動についてご意見がございましたら自由に記載ください。

コロナ禍で地域との連携が疎遠になった事で、地域との連携に対する職員の意識を高めていく必要がある。校内の体制を整えていく必要があると同時に、他校での取組などを知る研修会（多くの職員を対象とした）があればと思う。

サポーターやボランティアとして来られた方に、お茶（ペットボトル）等を購入して渡したい。

どこの学校でも事務職員と担当職員の負担は多い。

とても有意義な事業だと思います。

各校の年間計画データを公開し、活用できるような機会がほしい。

謝礼が確保されているのでありがたい。

多くの教育活動で支援をいただいています。プールでの学習やミシン活用時などの支援の際は、安全管理の面からも非常に役に立っており、事故防止につながっている。

本校は児童数も多く、コーディネーターを複数人配置して頂けたらありがたいです。また活動を進めると当初の計画より活動量の増減もあり、臨機応変な経費の使用を認めてもらいたい。

地域コーディネーターさんのおかげで、充実した学習サポート、環境サポートをいただいています。学校としては感謝の言葉しかありません。

本校での地域学校協働活動は、今年度になりコロナ禍での制限も少なくなったことから、昨年度より充実した活動を行うことができた。年間計画をもとに見直しをもって活動に取り組むことができるようになり、次年度以降は活動内容を見直しながら、年間計画の修正や活動の充実を図っていくことができたと思う。

本校は学校運営協議会と地域学校協働活動の一体化推進を図るために、児童生徒の参画を行っている。しかし、最大の課題は教職員の理解や意識の差である。効果的と分かってもなかなか活用できない現状もある。また、予算や施設等を含むハード面も課題であると考え。具体的に、予算等は仕方ないかもしれないが計画や報告も含めて手続きが大変で、担任では対応できないところもある。事務的なことも簡素化できるとありがたい。

本校では、地域コーディネーターの定期来校日の設定やそれに伴う各職員との連携を図る取組を進めてきました。その甲斐あって、職員と地域とのつながりが少しずつ深くなってきています。今後は、学校から地域に返せる取組を協働して進めていくことを検討していきたいと思えます。

令和5年度 地域学校協働活動アンケート調査 地域コーディネーター

このアンケートは、学校と地域の協働体制を構築し、組織的かつ継続的な取り組みとするため、毎年度、効果検証を行い、翌年度以降の活動に反映させることを目的実施しました。

調査結果は、今後の八代市地域学校協働本部の基礎資料として活用していきます。

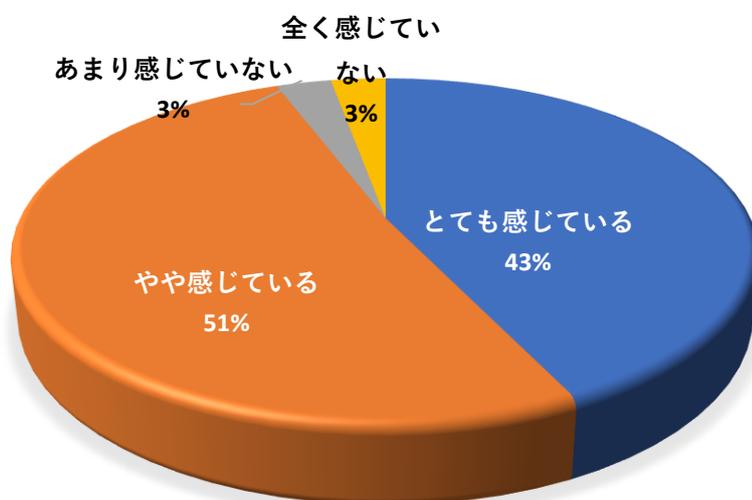
※調査期間 令和6年1月17日～1月26日

回答数	35名
-----	-----

【問 1】 地域コーディネーターの委嘱を受けて、やりがいを感じていますか？

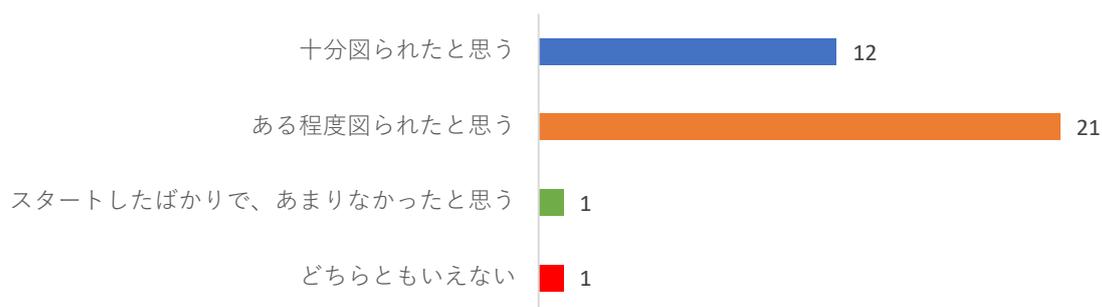
項目	回答数	割合
とても感じている	15	42.9%
やや感じている	18	51.4%
あまり感じていない	1	2.9%
全く感じていない	1	2.9%
合計	35	100.0%

多くの地域コーディネーターが地域学校協働活動に対して、やりがいを感じて活動いただいていることがわかりました。また、やりがいを感じていない活動があることもわかりました。



【問 2】 学校とのコミュニケーションは図られたと思いますか？

項目	回答数	割合
十分図られたと思う	12	34.3%
ある程度図られたと思う	21	60.0%
スタートしたばかりで、あまりなかったと思う	1	2.9%
どちらともいえない	1	2.9%
合計	35	100.0%

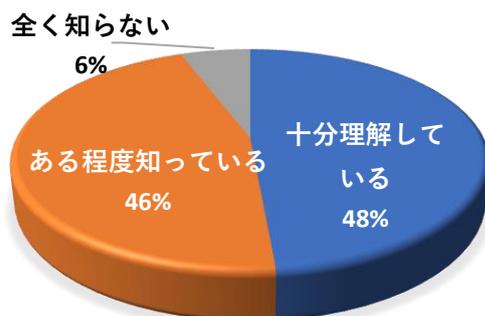


昨年と比較すると「十分図られたと思うが」5pt減少していますが、全体的には概ねコミュニケーションが図られています。

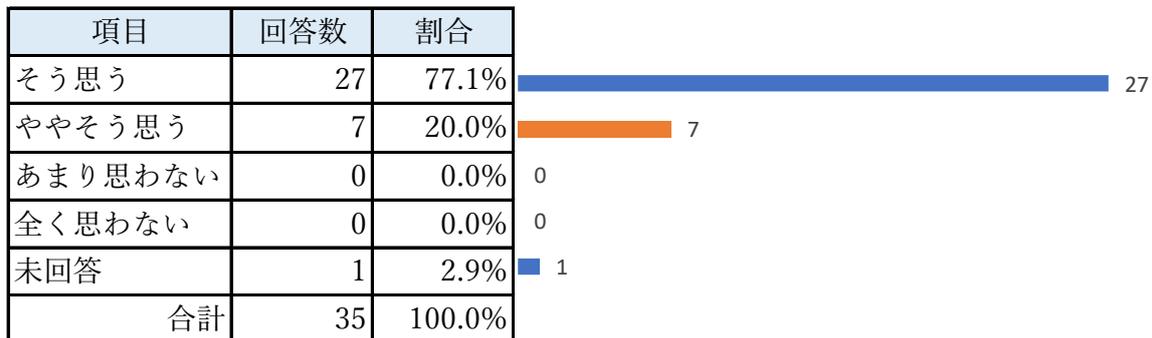
【問 3】 当該学校の教育方針や学校経営目標を把握していますか？

項目	回答数	割合
十分理解している	17	48.6%
ある程度知っている	16	45.7%
全く知らない	2	5.7%
合計	35	100.0%

地域コーディネーターがCS委員として参加していない学校があるということもあるため、委嘱時期等も含め、すべての学校のCS等において、情報を共有されるよう準備していきます。



【問 4】 連絡調整会議、各種研修等は役に立ちましたか？



【問 5】 連絡調整会議、各種研修等に関する要望はありますか？

グループワークの際にマスクになって正面から顔が見えないので、他の場所で会ってもわからない。また、他校の活動をもっと知るために、グループではなく全体協議等も活用願いたい。

パソコンを使った広報誌の作り方をご教示いただきたいです

各人に何か一言でもいいから発言してもらえればいいと思います。

現地研修は、活動しているところを実際に見て、体験もでき、とてもよかった。このような研修や、各学校の取組等の情報交換会、交流会を引き続き開催してほしい。

午前中の会議は11時30分までに終了する様に調整して頂きたいです。

今年一年補助的にはいりましたので、把握できないまま過ぎてしまいました。

今年度から地域コーディネーターになりましたので、前任の先生や、校長先生にご相談しながらの活動となっています。

参加者に学校の先生方、そしてPTAからもあっていいのでは？各学校それぞれ共有できるものであればいいと思います。

前回の意見交流会が、ある程度校区の方々とグループになっており各小学校の担当者と話が出来て参考になりました。

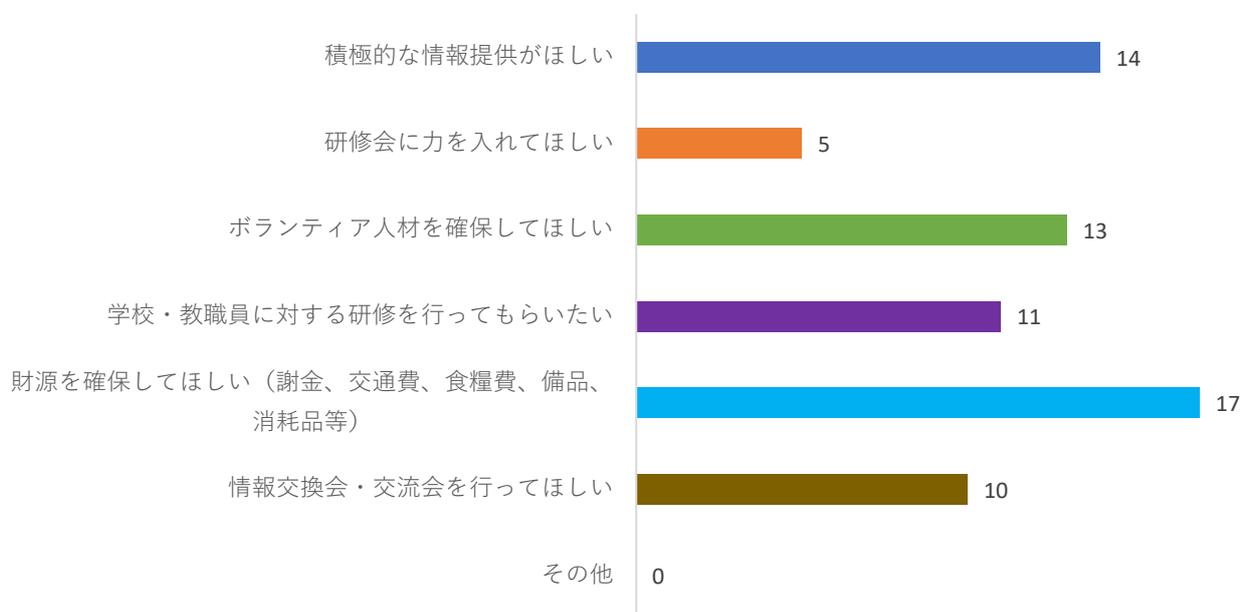
他校のお話を聞いて感心させられたり参考になる事もありますが毎回ではなくて良いので校区毎に意見交換会があると良いなと思います。

【問 6】 地域学校協働活動を実施する上の課題は何があると感じていますか？

ボランティアの人数を増やす
まだ、十分に活用されていないように思います。方法とか、意思疎通とか、まだ模索してるところがたくさんあります。
学校からの依頼際に、日にちや時間を決定する前に事前に相談してほしい
学校職員との、話し合いの時間がとれたらもっと協力態勢がとれるのではと自分なりに考えています。
学校職員のコーディネーターと地域への理解と必要性
教頭など先生たちがかわれて、前にあった事業がなくなる。また、郷土芸能や町の文化祭など小中学校で一緒に出演するが練習に時間が掛かるため提案がしにくい。
後継者作りが必要と思います。同じ人が長く止まっていたら活動内容が理解されないと思います。
人材の確保と協働活動に対する理解を職員及び地域住民が深める
先生方の依頼する、しない、の意識の差。授業の邪魔にならないのが1番だと思います。そして、スタッフ、ボランティア人材の確保、今よりもっと周知して、理解と協力を求めなければと思っています。
代陽小では、現在小6の外国籍の児童の授業サポートをしています。4月から一中進学ですが、学校同士の連携と、スムーズな移行をどのようにしていったら良いかと、悩みます。また、無償でサポーターの方にお手伝い頂いていますが、暑い時にペットボトルのお茶1本でもお渡し出来たら、熱中症予防等にもなるかと思いますが、こちらの財源では利用できない。とお聞きしました。どうかならないかな？と思いました。
担当する中学校は3つの小学校からなっており中々、他が実践されている様な活動が出来ずに過ぎました。校区の垣根を越えてが今の目標です。
地域の協力に対する温度
地域の方々にはコーディネーターの役割、存在も知らない方がほとんどではないかと思えます。周知して頂ければもっと活動しやすいのではないかと思います。
地域協力者が毎回同じになり、人材不足であること。
予算の増額
予算を全て未来塾に使われているので活動がありません。学校から依頼がないので地域の人に声をかけることもありません。地域の方々には年度当初にお願いしているので待たれています。コーディネーターがすることが何もないので、必要ない学校のコーディネーターは名前だけになってしまいます。
未来塾の先生が兼任されるか、PTA会長が兼任する等の措置を取られるなど対策された方が良いかと思えます。

【問 7】 地域学校協働本部の支援策についてお聞かせください。（複数回答可）

項目	回答数	割合
積極的な情報提供がほしい	14	20.0%
研修会に力を入れてほしい	5	7.1%
ボランティア人材を確保してほしい	13	18.6%
学校・教職員に対する研修を行ってほしい	11	15.7%
財源を確保してほしい（謝金、交通費、食糧費、備品、消耗品等）	17	24.3%
情報交換会・交流会を行ってほしい	10	14.3%
その他	0	0.0%
合計	70	100.0%



地域学校協働本部の支援策は、「財源を確保してほしい」が一番多く、お茶代等を望む声が多かったので、引続き予算確保に努めて参ります。

【問 9】 その他、地域学校協働活動についてご意見がありましたら自由に記載ください。

それぞれの学校の活動を尊重して、その地域と学校に無理のない、持続可能なものとしていければと思います。

まだまだ皆さんのお助けを借りながらの活動になってます。代陽小は、職員室に地域コーディネーターが使える机があり、毎週金曜日の夕方と決めているので、その日に先生方と打ち合わせる事が出来て助かってます。他校の色々な取り組みを、現在はLINEで知りますが、打ち合わせ内容や準備期間など、色々とお尋ねしたい事もありますので、研修会だけでなく、沢山交流しながらゆっくり雑談も交えながらの情報交換の交流会もあればなあ。と思いました。

学校からサポーター等に直接依頼される場合があるので、コーディネーターを通すのかを統一してほしい。

年代も様々な方たちが児童、生徒たちの為と楽しみながら頑張っておられる姿に頭が下がりました。

**令和6年度
八代市地域学校協働活動
事業計画**

八代市地域学校協働本部

1 目指す姿

八代市に住む私たちが、幼稚園や各学校の縦のつながり、そして学校・家庭・地域という横のつながり、さらには、それ以外の立場の人たちも含め、子どもも大人もみんなが糸をつむいでいくよううまく関係し合い、生涯刺激し合いながら学習できる、ふるさと八代を目指していきます。

また、地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を中心に幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、「地域の子どもは地域で守り育てる」機運を高めていきます。

さらに、地域と学校がビジョンや課題、情報等を共有し、熟議し、意思を形成する場である学校運営協議会を活用し、地域とともにある学校づくりを目指していきます。

基本コンセプト

目指す姿	地域とともにある学校づくり
実現の手段	地域や学校の実情に沿った地域学校協働活動の推進

学校運営協議会との一体的な推進

取組の柱

高める

地域の人的・物的資源を活用し、教育を学校内に閉じずに、地域の人々に支えられ学ぶことで、地域への愛着・学びへの意識、学力の向上を目指す。



伸ばす

すでに取り組んでいる活動を継続・充実させ、子どもたちとともに大人も学びあい、つながりを深め、実績を積み上げながら推進する。



変わる

学校が保護者や地域住民と教育目標を共有し、学校・家庭・地域の役割分担の中で学校運営を行う体制へ。教職員も地域の一員としての自覚と責任感を認識していく。



2 「八代市地域学校協働本部」が実現していくもの

(1) 「社会に開かれた教育課程」の実現

よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むため、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進を図っていく。

(2) 社会全体の教育力の向上及び地域の活性化

地域学校協働本部をベースに学校と地域が組織的に連携・協働する「地域学校協働活動」を確実に推進していくため、八代市教育振興基本計画に地域と学校との連携協力体制を整備することを盛り込み、地域とともにある学校づくりを推進していく。

(3) 「学校における働き方改革」の推進

学校及び教職員が担う業務の明確化・適正化のため、基本的に学校以外が担うべき業務としてPTAや地域ボランティア等が行ってきた取組事例を発信していく。

(4) 「地域の子どもは地域で守り育てる」機運の醸成

地域社会全体で、未来を担う子どもたちを守り育てていくための、多くの地域住民の参加が得られ、学校が求める支援の内容を踏まえて調整できる「地域コーディネーター」のより一層の人材育成を行っていく。

3 八代市地域学校協働活動事業の方向性

～やつしろの絆でつむぐ地域学校協働活動の推進～

学校・家庭・地域、各種団体などが連携し、情報交換や相談体制の整備を進めるとともに、通学路の安全確保や地域における子どもの安全・安心な居場所づくりに努め、地域社会全体で子どもたちを育てる環境をすべての小・中・特別支援学校において整え、以下3つの事業に取り組んでいきます。

(1) 様々な学校協力活動

学校・家庭・地域が連携し、相互補完をしつつ、子どもたちの教育を一体的に支援するため、地域コーディネーターを配置し、学校における働き方改革につながるような取り組みを推進します。

また、不登校児童生徒に対する多様な教育機会の確保や地域住民で見守る環境を整えます。

(2) 地域未来塾

経済的な理由や家庭の事情により家庭での学習が困難な児童・生徒への対応策として、退職教職員などによる学習支援を行い、中学校における学力向上を図ります。

(3) 放課後子ども教室

放課後、帰宅するまでの時間を活用し、子どもたちの学習意欲の向上や遊びを通じた地域社会との交流を図り、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設けます。

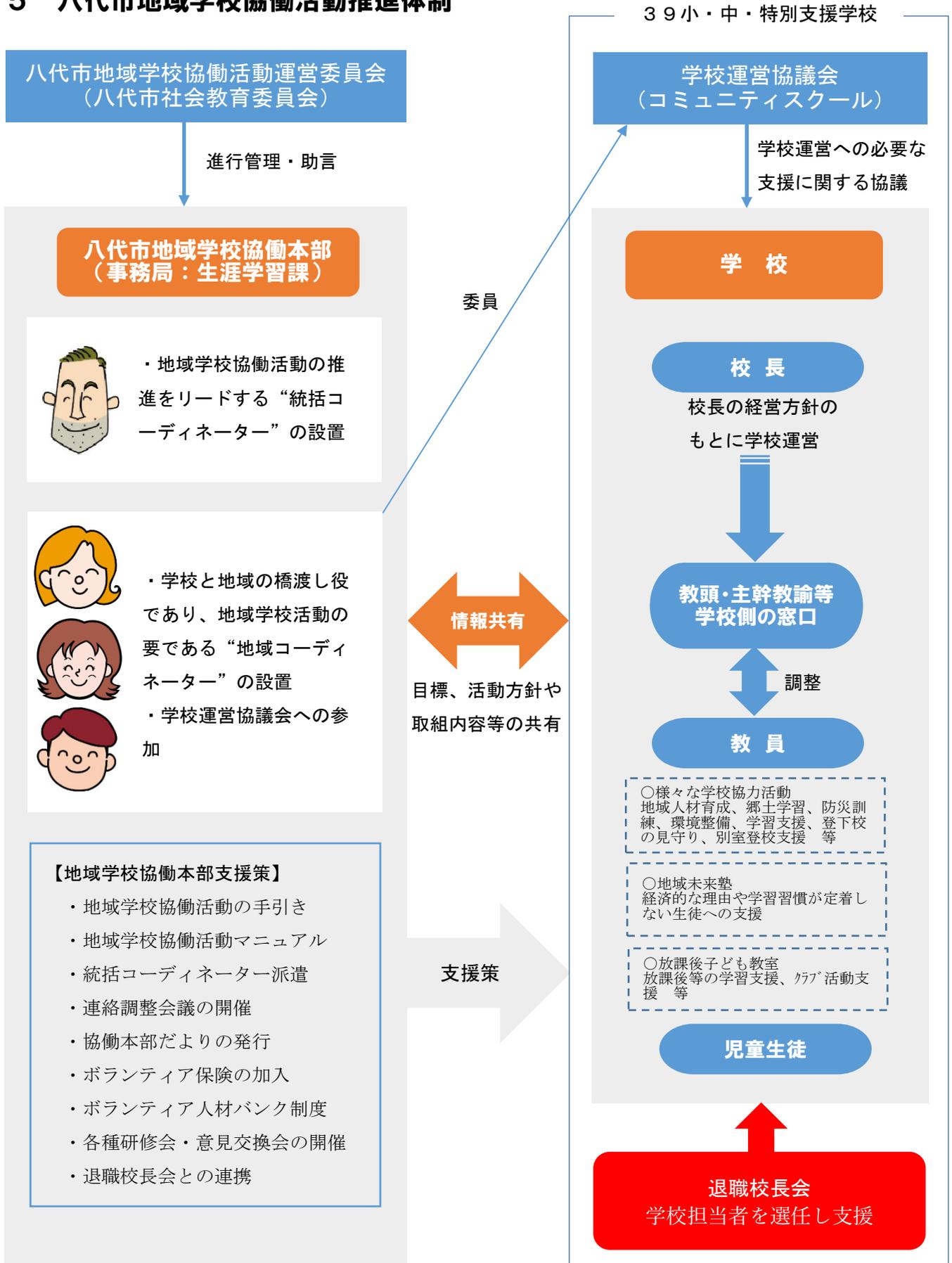
4 学校運営協議会（コミュニティ・スクール・CS）との効果的な連携

地域住民や保護者の意見を反映させる仕組みとして、学校運営協議会と地域学校協働活動の双方が機能することにより、次のような効果が期待できる。

- 学校運営の改善と連動した地域学校協働活動の推進
- 地域と学校の組織的・継続的な連携・協働体制の確立
- 子どもの教育に関する課題や目標等の共有による当事者意識の高まり

八代市地域学校協働本部の役割と支援策を明確にし、本部員である地域コーディネーターと連携強化を図り、併せて、各学校への情報提供を行い、支援策の活用を促していくものとし、学校運営協議会との一体的な推進に寄与していく。

5 八代市地域学校協働活動推進体制



6 令和5年度における課題整理

- ・地域学校協働活動や学校運営協議会の情報が、教職員間で共有出来ていない。
- ・地域コーディネーターの窓口となっている教頭・主幹教諭等との連携は取れているが、教職員と地域コーディネーターとのコミュニケーションが不足している。
- ・学校間で、知識や取組に温度差がある。
- ・不登校児童生徒への対応が難しい状況となっている。
- ・ボランティア人材の確保。
- ・教職員に余裕がない。
- ・積極的な情報発信。

7 令和6年度八代市地域学校協働本部活動内容

地域学校協働活動の推進にあたっては、現在、各学校で取り組んでいる学校支援活動を継続的・安定的に活動ができるように推進していきます。

また、ボランティアに参加する方には、「できる人が、できるときに、できる範囲内」で行うことを基本とし、ボランティア人材の確保に努めます。

協働本部においては、情報提供、各学校の状況に応じた支援を行っていきます。

(1) 様々な学校協力活動（強化事業：不登校対策）

- ・地域と学校が連携して取り組み、学校に関する働き方改革につながる事業の推進を図ります。
- ・地域コーディネーターが学校に行きやすく、連携がしやすい環境を整えます。
- ・統括コーディネーターが適宜学校訪問をするなど、学校との情報共有を行います。
- ・協力活動時、地域コーディネーターは、写真を撮るなど、記録を残すことを心掛けるよう助言します。
- ・SNS等を活用し、それぞれの取り組みを情報発信します。なお、写真の取扱いにおいて「著作権」や「肖像権」等の注意点を周知していきます。
- ・各学校が取り組んでいる協働活動を取りまとめ、各学校へ情報共有を図ります。
- ・不登校児童生徒へ対応できる人材を確保します。（退職教職員、主任児童員等）

(2) 地域未来塾

- ・学校と連携して、学習支援の年間スケジュールを学校と協議できるよう環境を整えます。
- ・学習支援員は地域コーディネーターを兼ねることができます。
- ・地域コーディネーター等の関係者に対して、研修等を受ける環境を整えます。

(3) 放課後子ども教室

- ・子ども教室の年間スケジュールを学校と協議できるように環境を整えます。
- ・子ども教室へ参加する児童募集を支援します。

(4) 人材育成及び教職員の意識改革

- ・地域コーディネーター人材育成研修会を実施します。
- ・教職員との意見交換会を実施します。

(5) 広報活動

- ・統括コーディネーターは、広報誌「協働本部だより」を発行し、すべての地域コーディネーターや教職員にデータ送信します。
- ・地域協議会だより、PTAだより等に掲載依頼するなど、様々な啓発方法を模索します。また、地域コーディネーターの広報誌作成ノウハウを高めていきます。
- ・SNS等を活用し、新たな情報発信ツールを構築します。
- ・FMやつしろ、ひこいちテレビへの出演及び取材の協力要請を行っていきます。
- ・地域学校協働活動PRビデオ（ケーブルテレビへの出演）の作成を検討します。
- ・地域学校協働活動をコミセンだより等により広く周知します。

(6) 地域人材の確保

- ・事務局は地域学校協働活動の広報周知を行い、ボランティア人材の確保に努めます。
- ・各種団体、企業等へ直接出向き協力依頼し、人材バンク制度への登録を推進していきます。

(7) 連絡調整会議

- ・地域コーディネーター間の情報共有と課題解決に向けた連絡調整会議を行います。
- ・地域学校協働活動に係る様々な情報を提供します。
- ・教育委員会における情報提供を行います。

(8) その他

- ・事務処理（事務マニュアルや実績報告書の作成方法等）を改良します。

8 令和6年度重点事業

本市の重要な教育課題の一つである不登校問題については、不登校児童生徒数が年々増加傾向にあり、また、その要因も多様化・複雑化しており、対応について学校関係者だけでは厳しい状況にあります。

そのため、学校と保護者だけでなく、関係機関、地域住民等の連携・協働体制を構築し、社会総掛かりで対応していくことが求められます。地域学校協働活動の中では様々な学校協力活動での支援に位置付けし、学力だけでなく、児童生徒の話の傾聴や、相談に応じるなど、コミュニケーションにも重きを置き、学校に行きやすい、学校での居場所づくり等の環境を整えます。

本事業では、不登校問題に対して支援していくことを目的として、以下のように対応していきます。

(1) 関係機関との連携

- ・教育委員会内（学校教育課、教育サポートセンター、生涯学習課）での情報共有と連携を強化します。
- ・社会教育団体や退職校長会、主任児童委員等の関係者・関係機関との意見交換会など情報を共有し、連携を図ります。

(2) 様々な学校協力活動を活用した支援

- ・地域住民（退職教職員、民生児童委員等）による別室登校者への支援を推進します。
- ・必要に応じて地域コミュニティセンター等と連携・協力した学校外の居場所づくりを検討します。

9 年間スケジュール ※会議等の回数・時期は予定

月	活動内容	協働本部	統括コーディネーター	地域コーディネーター	備考
4月	ボランティア募集	○			
5月	第1回協働本部会議	○	○	○	
	第1回連絡調整会議		○	○	
6月	協働本部だよりの発行		○		
7月	学校訪問	○	○	○	
8月	学校訪問	○	○	○	
	教職員との意見交換会	○	○		
9月	第2回連絡調整会議		○	○	
	協働本部だよりの発行		○		
10月	ボランティア募集	○			
11月	協働本部だよりの発行		○		運営委員会（第1回社会教育委員会）
12月	第3回連絡調整会議		○	○	
1月	ボランティア募集	○			
2月	第2回協働本部会議	○	○	○	
	第4回連絡調整会議		○	○	
	協働本部だよりの発行		○		
3月					運営委員会（第2回社会教育委員会）

令和6年度
八代市地域学校協働活動事業計画

令和6年 4月 1日
事務局：八代市教育部生涯学習課
〒869-4703
八代市千丁町新牟田1433
電話0965-30-1110

熊本県社会教育委員連絡協議会第2回理事会について

【期 日】令和6年2月13日(火)

【会 場】熊本県庁防災センター

【参加者】生田委員長、事務局(米村係長)

【議 題】

- ・令和5年度事業報告案・決算見込みについて
- ・令和6年度事業計画案・収支予算案(概算)について
- ・令和5年度第65回全国社会教育研究大会宮崎大会・第53回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会・令和5年度宮崎県社会教育委員研究大会報告について
- ・令和5年度熊本県社会教育研究大会・第68回熊本県公民館大会合同大会報告について
- ・令和6年度第54回九州ブロック社会教育研究大会鹿児島大会について
(期日) 令和6年11月7日(木)～8日(金)
(会場) かごしま県民交流センター
- ・第69回熊本県公民館大会・令和6年度熊本県社会教育研究大会合同大会(案)について
(期日) 令和6年9月25日(水)
(会場) 西原村総合体育館
- ・令和5年度各地区活動状況について